

歯科材料 6 歯科用印象材料
一般医療機器 歯肉圧排材料 JMDN コード 70882000

クイックスタート G e I

チップは再使用禁止

【禁忌・禁止】

- ・本品の使用により感作又はアレルギー反応が起きる可能性があるため、本品または本品に含まれる成分に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・チップは再使用禁止。

【形状・構造及び原理等】

性状：粘性のある赤褐色のゲル

成分：硫酸第二鉄 他

原理：本品との接触により口腔内滲出液を凝固させ、物理的に口腔内滲出液を抑制することにより、歯肉圧排時の辺縁部を明確にする。

【使用目的又は効果】

支台歯形成、印象採得などの際に、歯肉を圧排するために一時的に用いる。

【使用方法等】

1. 使用方法

（準備）

① 1.2mL シリンジ

キャップを取り外し、スタートフローチップをシリンジに確実に装着する。

② 30mL バルクシリンジ

キャップを取り外してドッキングポートを取り付け、ドッキングポートのもう一方の端に 1.2mL シリンジを取り付ける。1.2mL シリンジを固定しながら 30mL バルクシリンジのプランジャーをゆっくりと押し下げ、1.2mL シリンジに必要量を充填する。

注意：交差感染を避けるために、バルクシリンジから 1.2mL シリンジに本材を充填するときは、必ず新しいシリンジを使用すること。

注意：口腔内に適用する前に、スタートフローチップとシリンジの接続部に緩みがなく、本材がシリンジから均一に押し出されることを確認すること。

（使用方法）

① 歯肉を押さえながら、本材を歯肉溝に擦り込むように塗布した後、1～3 分間放置する。

② 生じた凝固物をエアとスプレー水で静かに洗い流し、吸引して取り除く。

③ 歯肉溝内の滲出液の流出が止まった後、エア及びスプレー水で十分に洗浄する。

④ 適切な圧排糸を歯肉溝に挿入し、歯肉を圧排する。適切な歯肉圧排と滲出液除去のために、圧排糸に少量の本材を予め含浸させて使用する。

⑤ 1～3 分間放置後、圧排糸を除去し、歯肉溝を強めのエア及びスプレー水で十分に洗浄・乾燥させる。

⑥ 歯肉溝の滲出液の流出が止まっていることを確認する。

2. 使用方法に関連する使用上の注意

① 交差感染を避けるために、スタートフローチップは患者毎に交換すること。

② 本材は接着性能を低下させ、接着された修復物において微小漏洩を生じる可能性があるため、適用部位に本材が残留しないように、歯面研磨材等を用いて接着部位を完全に洗浄すること。また、作製した修復物についても十分な表面調整及び洗浄を行うこと。

③ 本材の適用後にセルフエッチングボンディング材を使用する場合は、歯面研磨材等を用いて歯面を完全に洗浄すること。

④ 本材はエピネフリンとの混合により青色に変色するので、エピネフリン又はエピネフリンを含浸した圧排糸と併用しないこと。

⑤ 本材の使用により軟組織が変色することがあるので、適用部位以外に付着しないように注意すること。この変色は一時的なものであり、一両日中に消失する。

⑥ 本材を塗布する際には、必ず付属のスタートフローチップを使用すること。

⑦ 1.2mL シリンジは使用毎に消毒し、シリンジキャップで密封して保管すること。

【使用上の注意】

（重要な基本的注意）

① 本品の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には、直ちに使用を中止し、専門医の診断を受けさせること。

② 本品又は本品に含まれる成分に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、手袋などをして直接本品に触れないようにすること。また、本品の使用により過敏症状を起こした場合には直ちに使用を中止し、専門医の診断を受けること。

③ 本品が目に入らないように注意すること。万一目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。

【保管方法及び有効期間等】

（保管方法）

・本品は、2～30℃の室温で保管すること。

・本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

（有効期間）

容器に記載されている使用期限までに使用すること。（使用期限は自己認証〔当社データ〕による。）

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：  株式会社 **ヨシダ**

住 所：〒110-8507
東京都台東区上野 7-6-9

お問い合わせ先

器材部

電 話 番 号：03-3845-2931

F A X 番 号：03-3841-8204

製 造 元：インターメド/ビスタデンタルプロダクツ
Inter-Med/Vista Dental Products
(国名：アメリカ合衆国)